東京ジャーミイ金曜日のホタバ

２０１1年 12 月 30

我欲を点検すること

親愛なるムスリムの皆様。

私たちは新しい年を迎えようとしています。人生は水のように流れていきます。ただどのように過ぎて行っているかを私たちは気づいていないのです。ふと気が付くと年月が費やされ、寿命が尽き、来世での生が始まり、審判の場が用意されるのです。そこで大きな対価を払えるよう、現世で備えをし、我欲を点検することが必要です。「明日のために何をしたか、それぞれ考えなさい。」（集合章第１８節）という神の命令の要するところとして、来世への信仰を持つすべての信者は、この点検を行わなければならないのです。明日のために今日点検を行うことは、試験を受ける生徒がその準備をすることと相違ないことなのです。試練を受けるために創造された人間も、来世での生で自身に尋ねられる質問に正しく答えるため、ここでその点検を行わなければいけないのです。この点検は来世での勘定を容易とするという事実を預言者ムハンマドは次のように説いておられます。「勘定を問われる前に自分自身の自我を点検してください。最大の審判のために備えてください。なぜなら現世で自我を点検する人は、審判の日の勘定が容易となるからです。」

他者よりも前にまず私たち自身を、私たちの本髄を点検し、批判するべきです。現世でそして来世で有益なことを行ったことに喜ぶべきです。アッラーに感謝するべきです。そして悪い行いについて自らを批判し、後悔し、方向をただすべく努力しなければならないのです。自我の点検を行う際には、第一に崇高なアッラーの管理下にあることを考えなければなりません。無限の自由はないのです。現世で起こる事柄が私たちの望む通りではなく、どのように生きるかという点でも自分たちの希望通りに決めることができないのと同様に、「アッラーを見ているかのような感覚でしもべとしてふるまうのです。なぜなら私たちはアッラーを目にすることはできませんが、アッラーは確かに私たちをご覧であるからです。」

第二に、私たちが手にした成功や恵みも、アッラーが下されたものであると知るべきです。事実アッラーは「アッラーがあなたに与えられたもので、来世の住まいを請い求め、この世におけるあなたの（務むべき）部分を忘れてはなりません。そしてアッラーがあなたに善いものを与えられているように、あなたも善行をなし、地上において悪事に励んではなりません。本当にアッラーは悪事を行う者を御好みになりません。」（物語章第７７節）と命じられているのです。

第三に、預言者ムハンマドは「他の人の過ちを思い出したくなった時には、自分の過ちを思い起こしなさい。」と命じられています。それに従い、他者の過ちよりもまず、自分の過ちを見つめるべきです。

第四に、犯してしまった罪を思い起こします。そしてそれについて悔悟するのです。「あなたがた自身の中にあるものを、現わしてもまた隠しても、アッラーはそれとあなたがたを清算しておられる。」（牝牛章第２８４節）からです。そう、この現実と直面する前に、自分自身を点検しなければならないのです。預言者ムハンマドは「審判の日には、人のすべての行いが問われるまでその集合の場から離れることはない。」と警告されています。そのことを忘れずにいましょう。そして勘定が問われる前に自らを点検しましょう。